

創立50周年を迎えて



私は今、南区剣道連盟の大きな節目である創立50周年のこの佳き日に巡りあえた我が身の幸福をしみじみとかみしめています。いままで長きにわたり、竹刀を握り続けてこられたことは、多くの諸先生方のご指導があったればこそと感謝の思いでいっぱいです。

思い起こせば、私は小学四年生より、当時南区山谷にあった立正館道場に入門し、山本一郎、宮崎弥平両先生に教えを受けました。中学二年のとき、南区剣道連盟が創立され、立正館は寿剣友会へと引き継がれました。そこでは、小中沢辰男、御園政雄両大先生に厳しい稽古をつけていただきました。現在の私があるのも、少年時代からしっかりとした剣道を伝授して頂いたおかげです。

南区剣道連盟ですが、昭和32年8月、当時の寿警察署(南警察署の前身)に置かれた寿剣友会を主管道場として創立されました。創立の際には、相沢卓治先生(初代会長)、小中沢辰男先生(第二代会長)、川原忠彦先生、御園政雄先生、永田次郎先生、渡辺喜代治先生(居合道)、和田秀文先生(寿警察署長)をはじめとする、諸先生方の大変なご苦勞があったと承っております。先生方の多くは既にご他界されましたが、50年の節目に、あらためて先駆の先生方に感謝しご冥福を祈るとともに、天国から弟子たちが協力しあいながら頑張っている南区剣道連盟の活動を見守ってほしいと願う次第です。

現在の南区剣道連盟は、総会員数500名、地域の剣道団体8支部、中学校剣道部10校、高校剣道部4校と、大きく発展いたしました。春秋年2回の大会を中心に、級審査会、合同稽古会、講習会、剣道形研修会など幅広く活動しています。若い先生方が「南区を強くするぞ」の意気込みで、協力し、また競い合い、徐々にその成果が発揮されています。小学生は県・市・各区の様々な大会で優勝や上位入賞の活躍をしております。中学生では、今年度、蒔田中学男子・南が丘中学女子が県代表として関東大会に出場しました。また、全日本家庭婦人大会に県チームの大將として高橋由美子選手が出場し、三位になりました。年配者では、及ばずながら私も全国健康福祉祭ねんりんピック横浜市代表として出場します。

先達の築いてきた50年の礎の上に立ち、未来の50年に向け、さらなる剣道の発展を進めていくことが今の私たちの使命です。日本の伝統文化である剣道を正しく伝承し、普及・発展に努めていくとともに、健全な青少年の育成と地域社会の発展に貢献すべく、連盟一同、「一意専心」の気構えをもって、決意を新たに組み組んでまいります。

神奈川県剣道連盟、横浜市剣道連盟、各支部の先生方、そして関係各位のなお一層のご支援とご指導を何卒よろしくお願ひいたします。